

# 競 技 注 意 事 項

1. 競 技 方 法 2024年度日本陸上競技連盟競技規則による。
2. アスリートビブス ○個人アスリートビブス(男女赤字)を胸背部につける。ただし、跳躍競技は、胸背いづれかでよい。トラック競技に出場する選手は全員腰ナンバー(大会本部で用意する)を右腰後方に付ける。
3. 招 集 ○招集完了時刻は、トラック競技は競技時刻の20分前、フィールド競技は30分前とする。ただし、棒高跳は60分前とする。  
○競技者は招集完了時刻の10分前までに招集所に集合し、点呼を受けシューズのチェックを受ける。  
○招集完了時刻に遅れた選手は棄権とみなす。  
○招集所は、100mスタート地点外側のテントとする。  
ウォーミングアップ場は、多目的広場のみとする。
4. 練 習 場
5. 使 用 器 具 器具は本部で用意したものを使用すること。但し、棒高跳のポールは各自のものを使用すること。バトンも本部で用意したものを使用し、レース後ただちに係員に返すこと。
6. トラック競技 ○不正スタートをした競技者は、1回目で失格とする。  
○短距離では、事故防止のためフィニッシュライン到着後、自分に割り当てられたレーン(曲走路)を走ること。  
○200m、400m、100mH、110mHは、記録上位16名による二次レースを実施する。出場辞退者の分の補充は行わない。  
○二次レースへの進出者は、アナウンス及び、正面玄関前の掲示で通告する。
7. フィールド競技 ○走幅跳、砲丸投、円盤投は試技を3回とし、トップ8による3回の追加試技を行う。  
○男子砲丸投については5.000kg、4.000kgで実施する。
8. バーの上げ方 ○共通走高跳、最初の高さは当日決定する。上げ幅は5cmとする。  
○共通棒高跳は、最初の高さは当日決定する。  
男子は上げ幅は3mまでは20cm、それ以降は10cmとする。  
女子は上げ幅は2m60cmまでは20cm、それ以降は10cmとする。
9. ス パ イ ク
10. シ ュ ー ズ トラック種目・走幅跳・棒高跳は9mm以下、走高跳12mm以下とする。  
靴底の最大の厚さについては、以下のようにする。  
フィールド種目・800m未満のトラック種目 20mmまで  
800m以上のトラック種目 25mmまで
11. そ の 他 ○当日審判員のいない学校は、選手の出場を停止する。  
○当日の選手の変更は一切認めない。  
○競技する選手以外は競技場内に立ち入ることはできない。  
○スタンドの手すり際に立っての応援は禁止する。  
○中学生は携帯電話等の電子通信機器を競技場内では原則として使用しないこと。  
○写真・動画撮影については大会本部より許可されている場所・方法以外での撮影は禁止します。  
○トランシーバーを使用する場合、本部で使用する7・8・9・10チャンネルの使用を禁止する。

# 選手注意事項

選手は以下の流れに従って動き、失格にならないように気を付けて下さい。

